

サウンディング調査結果の概要

1 調査概要

時期：令和4年4月～令和6年5月

方法：委託事業者が都市銀行として自ら持つネットワークを駆使し、
全61事業者に対し、直接面会による対話を中心に合計201回の
聞き取りを実施

2 聞き取りで確認できた主なこと

- ①全体をまとめて一体的に面整備するような大手ゼネコンやデベロッパーはいない。
- ②市が、道路や調整池、上下水道、公園などのインフラ施設整備を行うことを前提条件に、優先的まちづくりゾーンへの進出を希望する民間事業者が8社あった。
- ③インフラ施設を市が整備する前提で、実際の造成や工事を想定した事業者と市の役割分担などを明確にする必要がある。